

地域交流センターはくあい 運営スタート

● 福祉のシンボル塔に向かって

法人業務に関して

池田博愛会50周年記念事業として「地域交流センターはくあい」を建設しました。法人本部は2階の大ホール横のスペースで役員並びに各施設より配置された出向職員が業務を行っております。法人本部では経営理念に基づき、法人及び各事業所の運営を統括し、

経営状況の分析や新規事業の開拓、また、法人各種委員会・職員研修等の開催を行う事務局体制としました。

今後とも地域における福祉の発展・充実のために法人の統括とガバナンスの強化を実施してまいります。

● 総合相談センターはくあい

総合相談支援センターとして、7月10日より営業を開始しています。

センター内には、3つの事業を展開しておりますが、それぞれ専門スタッフが、日常生活にかかる相談や仕事に関する相談をお受けしています。いろいろな相談ができるようになり便利になったと利用者の方にも喜んで

いただいております。

また、グループホームを利用されている方の集う場や楽しむ場としても活用していただいておりますが、今後、地域社会の中で安心して生活できる場の拠点としての役割を担っていきたく思っております。

大ホールの使用について～地域と共に～

福祉のシンボル塔をめざし、福祉（博愛）文化を築く地域活動拠点となるように、地域に開かれたホールとしてスタートしました。開館以来、三好市主催の箬蔵地区敬老会や箬蔵ふれあい祭のメイン会場として地域の皆様の交流の場として利用していただきました。また、法人の各種会議や中国・四国通園施設の研修会などの会議をおこない、法人職員の資質向上のために活用しています。



今後も大ホールの利用を通じて福祉活動や住民活動の推進に協力してまいります。

平成25年度 一般研修



キッチンカフェ いろいろ

街のひととの交流が広がる利用者つどいの場

7月25日にオープンした「キッチンカフェ いろいろ」では、健康づくり推奨店として登録したヘルシーメニュー、日替わり定食などの各種定食をはじめ、「なかよしベーカリー」で製造したパンの販売、地域の方が作成した各種物産を販売しています。平日は地元の方や交流センターに来荘された方が食事をされたり、休日には池田学園の子供たちやグループホームの利用者の方が食事に来られています。喫茶で働く利用者も、不安ながらも回を重ねるごとに、表情に余裕が見られだしました。今後も多くの方が集える喫茶にしていこうと思っております。



日替り定食500円

ほっとかない事業の進捗

ほっとかない事業が始まってから8ヶ月が過ぎ、売り上げも少しずつではありますが伸びてきました。始めた頃はお客様に事業の内容が浸透しておらず、電話や訪問をしても断られることも多かったのですが、最近では喜んで頂けるお客様も増えてきました。

利用者の方も、始めの頃は挨拶や話をすることが出来なかったのですが、今では慣れてきて積極的にできるようになりました。又最近では、利用者の方との会話を楽しみにされているお客様も多くなり、週1回の訪問が待ち遠しいと言っていただけるようになりました。

今後も、地域の片々に喜んでもらえるように販売の拡大や見守りに努めて行きます。



○第32回障害者の集い県民大会
【名誉大会長（徳島県知事）表彰】
優秀団体 セルブ箸蔵

平成25年度 役員研修会開催

～共に100年にむかっての研修～



5月に実施した地域の皆様への「感謝の集い」また、8月に実施した50周年記念行事も滞りなくすべてが終了し、100年へ向かってのスタートをきりました。社会情勢にあっては、社会保障制度改革国民会議の報告書がだされ、今後の道筋も見えてきました。そんな中、11月13日に、はくあいセンターで役員研修会を開催しました。研修内容は50年で築きあげてきた業務内容やサービス・経営について現状を報告し、PDCAサイクルの様相等変わっている姿を確認いただくことができました。

報告資料

- ①100年に向かって方向性を探る
(国民会議報告書、経営協9月号参考)
- ②博愛会の実態と動き
(中間事業報告、決算事業、各種データ)
- ③報告事項(主な現況報告)
- ④協議事項(定年制、役員会、評議委員会のあり方)

研修後、懇親会にて多くの意見交換をいただき、爽やかな研修となりました。

なお、9月19日・20日には全国社会福祉法人経営者協議会の全国大会に役員4名と評議員1名が参加し研修を重ねています。今後も地域・社会・福祉が様変わりする中、情報を共有し法人の進むべき道筋を協議し、更なる発展に向け、役員心をひとつに池田博愛会は進化を続けてまいります。

すぎのこぱんだ教室 スタート!!

美馬・阿波市の発達面で気になる子どもの保護者からの希望により、10月より、毎月2回つるぎ町で就学前の子どもさんを対象にぱんだ教室が始まりました。地元の保健師さんの協力のもと、ミュージック・ケアやリトミック・歌遊びなどの療育活動を行い、お子さんの育ちを促すかわりを一緒に考えていきます。身近な地域において療育支援ができるように取り組んでいきます。



皆と一緒にバルーンを楽しんでいます



ミュージックケアでかごりん使って順番を知らせています

スピリットの会 発会式



スポーツを通して磨かれた人材の集団として、スポーツをたしなむ職員アンケートから選抜された32名によって、個別あるいは集団での活動によりお互いの連携・絆を深めることで個人の成長と拡がりを持ち、その力量をもって社会や地域に貢献することで、福祉事業の推進、拡大を目指し、法人の拡がりにも役立たせることをねらいとする同志の会として、平成25年11月22日に発会式が行われました。

発会式後には、元辻高校女子ソフト部監督であり、全国大会でも活躍された渡辺先生を迎え、指導者の生き様について講義を頂き、教え子からの厳しく楽しかった経験談も懇談の席で話し合われ、意義ある発会式となりました。

報告

第13回全国障害者スポーツ大会

平成25年10月10日から15日までの6日間、東京で行われました、第13回全国障害者スポーツ大会に松下光彦様が参加されました。



競技種目はフライングディスクのアクチュアリーとディスタンスに出場し、アクチュアリー競技ではディストリーファイブ(5m)の部において10投中4投で第6位。ディスタンス競技では11.68mで第8位でした。

10月にしては30℃を超える日もありましたが、体調面もかわりなく元気に競技することができ、本人も大変喜ばれていました。

快挙

平成25年11月11日・12日の2日間、鳥取県米子市で開催された第4回オールジャパンケアコンテストにて、永楽荘、介護士の小笠原ひとみさんが「排泄の部門」で優秀賞に輝きました。



「全国から集まった方々から、お話を聞ける交流の場もあり、それぞれの想いを肌で感じられる非常に有意義な時間でした。出場を決めた夏から緊張の日々でしたが、良い経験をさせて頂き感謝しています。」と話される。

この大会は、全国各地から挑戦したいという介護従事者が集い、日頃の介護技能や心構えを実践して、介護とは何かを考え、選手だけでなく地域の方々も参加、見学を通じて福祉との繋がりを体感できる場となっています。

第32回 理事長杯争奪球技大会

平成25年9月1日(日)に、第32回理事長杯争奪球技大会が、ふれアリーナみよしと箸蔵小学校体育館で開催されました。大会当日は、あいにくの雨天のためソフトバレーボールのみの競技となりましたが、26チーム、254名の選手が参加され、ハッスルプレーの連続で熱戦が繰り広げられました。

競技の後には、恒例の懇親会が地域交流センターはくあいで行われました。およそ100名の方が参加され、盛況のうちに大会を終えることが出来ました。

成績結果

- ソフトボール(雨天のためソフトバレーボール)は、優勝「チーム消防」、準優勝「消防第三分団」三位「好きです箸蔵」
- ソフトバレーボールは、優勝「ブラックアタッカーズ」、準優勝「HEART」三位「アグレッシブ」でした。



今回は、雨天のためソフトボールが出来ませんでしたが、ソフトバレーでもチーム全員で挿んだ勝利でした



来年は、優勝目指して頑張ります



日々の優勝！チームワークの勝利でした



毎年楽しく参加させてもらっています。本大会は地元チームの参加が中心で、懐かしい顔ぶれに出会えるのも楽しみの一つです。和気あいあいと気持ちの良い汗を流し、地域の活性化を意識できる1日でもあります。これからも大会がずっと続いて欲しいと願っています



スポーツを通して地域の方と交流も出来て、良い思い出になりました



地元や県外にいる同級生たちと、この大会に参加させてもらっています。優勝目指して頑張っています

第26回 ふれあいフェスティバル

11月17日(日)に第26回ふれあいフェスティバルを開催いたしました。

当日は、爽やかな秋晴れの中、約450名の参加者が各班に分かれ、それぞれのコースで箸蔵山への登山を楽しまれました。

特に箸蔵近隣公園から箸蔵寺までの徒歩での登山コースに参加された方が山頂の休憩所で、いっぱい汗をかきながら笑顔でスポーツドリンクを美味しく飲まれている姿が印象的でした。

また、今回は箸蔵近隣公園で、うどんと炊き込みご飯が振る舞われ、参加者は食事をしながら交流を深めておられました。抽選会では、番号が発表されるごとに、溜め息と歓喜の声が交じり、盛り上がっていました。

箸蔵寺のご協力をはじめ、地域の方々へ支えていただき、無事に第26回ふれあいフェスティバルを終えることが出来ました。



職員親睦レクリエーション大会

博愛仲間は今年もすごい！集まった208名は今年のサブテーマ「今日の仲間、明日へ繋げ」の団結力で走り、跳び、助け合い、目指すは第1位。

平成25年11月8日の職員親睦レクリエーション会場は、マイクの声も届かない程の歓声で風船を使った競技に奮闘し笑いの中にも真剣に取り組む温かい仲間の姿がそこに有りました。博愛会が100年へと向かう道のりを今日の友情と熱い思いで、きっと遅く進んでくれると感じました。

今日の仲間、明日へ繋げ!!



すぎのこ 中国・四国地区幼児通園施設職員研究協議会 徳島大会



9月20日、21日の2日間、第46回中国・四国地区幼児通園施設職員研究協議会徳島大会がすぎのこで開催されました。

1日目にはすぎのこでの公開療育と「生きる事は食べる事」共食でみんな元気に」と題して来代管理栄養士に講演をいただきました。夜にはレストハウスウエノにて交流会を開き、食事や、よしの連の阿波踊りを楽しみました。2日目には、「地域支援」「療育支援」「家族支援」の3分科会に分かれ、各施設の活発な取り組みを聞き、様々な意見を出し合う、有意義な会となりました。

中国・四国の幼児通園施設職員総勢115名が集まり、盛会のうちに終わることができました。



平成25年度 障害者就業・生活支援センター四国地区



にし阿波障害者就労支援ネットワーク ステップアップ研修会

平成25年度11月22日・23日の日程で地域交流センターはくあいにて「平成25年度障害者就業・生活支援センター四国地区 ネットワーク会議」「にし阿波障害者就労支援ネットワーク ステップアップ研修会」が開催され、四国4県から総勢24名が集まりました。



開会式



公演

1日目は、講師として松茂町にある、きらら保育園の河野玲子様、山口百恵様をお招きし、保育園での障害者雇用についてお話していただきました。また、その後は各班に分かれて、「発達障害者支援」「各地域の就労支援状況」等の意見交換を行いました。地域によってさまざまな課題や、取り組みを聞くことができ、充実した2日間を過ごすことができました。

今後も、四国での連携、ネットワークを構築し、より良い就業支援ができるようにしていきます。

地域と共に～交流の現場～

箸蔵福祉村ふれあい運動会 9/8 (日)

第20回ふれあい運動会はあいにくの雨の為、今年池田支援学校体育館で開催されました。法人からも運営係りとして、箸蔵福祉村を始め箸蔵地区の皆さんと、玉入れや各種競技を通じて交流を深めることができ、笑いが絶えない和気あいあいとした雰囲気の日を楽しく過ごせました。



箸蔵ふれあい祭り 10/27 (日)

第9回箸蔵ふれあい祭りが開催されました。餅つきや各種バザー等、色々な催し物が執り行われる中、輪投げや玉入れ、ヨーヨー釣り等のお遊びコーナーを実施させていただきました。沢山の小学生や一般の方がゲームを通じて楽しく交流を深めることができました。



第8回 三好市社会福祉大会 11/10 (日)

第8回三好市社会福祉大会が開催され、今年も、ゲームコーナーを担当させていただきました。ゲームコーナーも大盛況で多くの方と各種ゲーム等を通じて交流を深めることができました。ハット君も会場内をふれあいながら歩き、記念写真を一緒に撮ったり、握手をしたりと大人気でした。



永楽荘 家族交流会

「団らんのひとときを～永楽荘家族交流会～」

永楽荘では、利用者の方とご家族、そして職員が交流を深め、コミュニケーションを密にし、気軽に相談し合える関係を築いていくため、各ユニット毎に家族交流会を実施しています。

ご家族の方ならどなたでも参加でき、孫・曾孫さんからご兄弟まで一家揃っておいでになるご家族もあり、利用者、職員だけでなく家族の方同士の交流も図られ、食事を一緒に食べていただき、カラオケを歌ったり、踊りを披露したりと、打ち解けた雰囲気、団らんのひとときを過ごすようになっています。



ご家族、職員が交流を深めより良い関係を築き、利用者の方の生活が充実していくように努力していきたいと思っております。

善意の輪



風月楼様贈

ピアカウンセラー一同様贈
四国補聴器センター

敬神婦人会様贈

金本夫妻様贈

この度、地域交流センターはくあい、風月楼の方から絵画を、四国補聴器センターとピアカウンセラーの皆様と敬神婦人会の方からはそれぞれ時計を、金本ご夫妻からは茶器の置物を頂きました。どうもありがとうございました。大切に使用させていただきます。

平成24年12月1日から平成25年11月30日の間に当法人にお寄せいただきましたご協力者【個人・団体】の方々をご紹介します。(順不同・敬称略)

寄付金品

- 三好仏教会 ●すぎのこ保護者会 ●すぎのこ卒園児保護者 ●じゅうやく会 ●(株)タルミ
- 池田学園OB竹内勝子外16名 ●池田学園保護者会 ●三好市池田婦人会 ●敬神婦人会
- 徳島西部ライフサポートセンター ●風月楼 ●四国補聴器センター ●漆川住民福祉協議会
- 公益社団法人生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会徳島県協会会長中山誠 ●山崎茂
- ピアカウンセラー一同 ●金本貴文 ●伊丹修子 ●小笠原仁 ●木曾文雄
- 伊丹ツタ子 ●山西洋子 ●松下孝吉 ●横佐古一雄 ●大西美津代
- 大西サカエ ●平田一夫 ●石井豊 ●山田哲子 ●匿名希望

ボランティア

- 鴨島病院言語聴覚士 ●黒住教白地協会所井ノ久保分会 ●黒住教阿波池田教会所
- 天理教三好支部 ●四国電力 ●箸蔵福祉村 ●三野町母子寡婦会 ●三野町民舞クラブ
- 三野町婦人会 ●三野町消防団第三分団 ●おもいやり連鎖 ●もみじの会 ●宝珠の風
- 池田町婦人会 ●べっぴん会 ●はしくらでんがく会 ●池田高校 ●三好高校 ●辻高校
- 福祉ボランティアコスモスの会関口律子 ●パインスターエンターテイメント森京子
- 池田中学校 ●三加茂中学校 ●白地小学校 ●美容室たいふう ●影野地区地区住協
- 池田町消防団箸蔵第3分団近隣防火クラブ ●音羽流朋舞の会(ゼロの会) ●スタジオFUN
- 福田博子 ●小笠原秋子 ●古泉昭美 ●藤原ゆう子 ●岩本博幸 ●佐々木里美 ●前田聡
- 岩崎(国土交通省)

表彰者

- ★第57回徳島県社会福祉大会社会福祉事業功労者
【名誉大会長表彰(知事表彰)】 古泉新一郎、萩原俊子、西本まゆみ、前川順子
【大会長表彰】 藤田信哉、尾上江利子、川原純子、大上すすえ、平尾一美、川人千代子
- ★第32回障害者の集い県民大会
【名誉大会長(徳島県知事)表彰】 優秀団体 セルブ箸蔵
- ★第57回徳島県老人福祉施設協議会
【永年勤続職員表彰】 矢野孝文
- ★第8回三好市社会福祉大会大会表彰
【社会福祉事業功労者】 福田俊二、松林真奈美、久保陽子
尾瀧由美子、伊丹はるみ、石川広美、矢野美代子、岡とみ子
- ★阿波池田ロータリークラブ優良従業員表彰/大岡陽子
- ★三好地区安全運転管理協議会表彰
【優良従業員表彰】 前田年子、宮内ひろみ、松本春代、玉木千恵子

おめでとうございます!!



発行/平成26年1月1日 社会福祉法人 池田博愛会
徳島県三好市池田町州津滝端1271番地7 TEL 0883-72-3150 FAX 0883-72-3158
HP: http://www.ikedahakuai.org/



今年も
ますます
お祈り申し上げます
平成二十六年元旦

笑



新年明けましておめでとうございます
100年に向かって第一歩



社会福祉法人 池田博愛会
理事長 中村 忠久

昨年は50周年記念式、地域交流センター「はくあい」の落成式、感謝のつどい等沢山の行事を滞り無く執り行うことが出来ました。心より感謝とお礼を申し上げます。本年は新しい環境で、新しい気持ちで、役職員一同力を合わせじっくりと一歩一歩を踏みしめ、少しずつ確実に進化してまいります。

昨年8月5日、社会保障制度改革国民会議の報告書が提示され、これからの社会保障の道筋が見えてまいりました。骨格として、

- 1、自助を基本として共助で対応し、そして公助が補完する
- 2、現在の世代の給付に必要な財源は現在の世代で確保
- 3、「年齢別」から「負担能力別」に負担のあり方を考える
- 4、「21世紀(2025年)日本モデル」に転換、支える側へすべての世代がその能力に応じて支え合う全世代型の社会保障
- 5、地域包括ケアシステムの構築(医療の変容、医療と福祉の仕組みづくり等)

このことを踏まえ、池田博愛会は、

- 1、50年の姿を礎に現場力、人間力を磨く
- 2、中長期計画、財務計画に沿った事業推進
- 3、社会福祉法人の使命と役割の実践

このことを柱として見通しを立てた実行に努めてまいります。

それはQOL(生活の質)と財源(健全経営)を見極め、業務はPDCAに基づき結果責任を明確にし、成果を見つめ、本物に向かって本気度を測定してゆく姿勢で進んでまいります。そして、50年を積み上げた実績にたち積極的に法人の強みを活かし、弱み、脅威を受け止め、地域を大切に、地域に愛され、地域に信頼される法人に向かって進化してまいります。

今年も、変わらぬご理解とご支援をいただけますよう、宜しくお願い申し上げます。

